

紛争の続くコンゴを支援

活動の輪を広げ 専門店づくり



でメロンパンを魅了した私

平井萌さん (法3)▶

メロンが入ってこないのに「メロン」を名乗る凶々しいパン。食わず嫌いだったメロンパンは、ひと口で平井萌さん(法3)を魅了した。「なんておいしいんだろ、もう衝撃でした。」茨城県土浦第一高3年生の終わり、友達に勧められて購買部で手にしたメロンパンだった。

空白を取り返すように本人に寄付した。

大学入学後は週に10個食べた時期も。ついには昨年4月「メロンパンで紛争の続くコンゴ(アフリカ)の人々を支援し、メロンパンの魅力を広める普及運動からコンゴに寄付する活動を編み出した。」

目指すのは、メロンパンの売り上げの一部がコンゴに届く仕組みを持つ専門店づくり。平井さんのひたむきさが支援の輪を広げ、1号店を海外に置くプロジェクトが動き出そうとしている。

「スウェーデンカイギリスカシンガポールか、まだわかりませんが、地元の人々の口に合うメロンパンを開発し、世界中に広げたいです」

開店予定日は11月8日の「いいパンの日」(平井さん)と決めている。

フロアボール選手権大会2度出場

日本代表の軸 西井遼太さん (経営4)



日本代表としてプレーできたことは誇り。西井遼太さん(経営4)は、日本代表として「2014男子世界フロアボール選手権大会」(12月6〜14日、スウェーデン・イエーテボリ)に参戦。全5試合のうち4戦に出場(1試合はけがのため欠場)し、チームに貢献した。

フロアボールはゴールキーパーを含むチーム6人で、スティックを使ってボールをゴールに入れる球技。ルールに差異はあるが不安定。日本で実態を伝えてほしい。コンゴの食や文化、紛争を伝える活動を続ける中で、メロンパンの魅力を広める普及運動からコンゴに寄付する活動を編み出した。

978年頃に紹介された。西井さんの地元・東京都調布市は同競技が盛んな地域。小学5年生の頃、老若男女と一緒に楽しむように同競技を改良したユニホッケー(現ネオホッケー)を始めた。「ほかのスポーツとは違い、みんなでプレーできるのが魅力だった」

15歳の頃、「本格的に取り組もう」とフロアボールに転向。調布フロアボールクラブ傘下のクラブチームを率いる。西井さんの奮闘もあり、日本代表は15位となった。

懸賞論文・文芸作品コンクール

論文 山下さん (人間科学3)
文芸 金谷さん (文4) 2年連続

鳳賞

2014年度「懸賞論文・文芸作品コンクール」(学生部主催)の授賞式が、12月15日に生



阿藤学生部長から賞状を受け取る山下さん

賞状が決定し、応募論文37本、文芸作品32作の中から、論文部門は山下さん(人間科学3)の「不自然なナチュラルルルル」(学生部主催)の授賞式が、12月15日に生

本場スウェーデンでの開催とあって、「良いプレーには歓声や拍手が起こり、場内の一体感はずっと高かった。選手として最高の気分を味わえた。」

卒業後はスポーツ用品店に就職する。「マイナースポーツではありませんが、一つのものに真剣に向き合ってきたことで多くのことを学び、貴重な体験でした」と振り返る。「選手としてはここで一区切り。今後は大学で学んだ知識を生かし、組織のマネジメントに取り組むたい。自分の可能性を広げ、自分を成長させてくれたフロアボールに恩返ししたい」と夢を語る。

入賞者と作品名 (敬称略)

◆懸賞論文 (賞金20万円)
▽山下菜(人間科学3)「不自然なナチュラルルルル」
▽泉澤恵(人間科学3)「東日本大震災から見る、男女平等の世界」
▽人見至(人間科学3)「希望を探る若者達」
▽中田光政(院文修2)「誰がための舞台」
▽佳作賞(賞金2万円) 在職期間別離職率から考える現代の日本企業」

◆文芸作品 (賞金20万円)
▽金谷沙織(文4)「高橋葉麗」(商4)「今話題のIPO投資は本当に魅力的なのか」
▽石川達也(人間科学3)「灰降家の崩壊」
▽優秀賞(賞金5万円) 湯澤時生(人間科学3)「絆はどこにあるのか」
▽佳作賞(賞金2万円) 田君「柘植光彦文学賞」賞金20万円
▽岡田大樹(院文修2)「奥村菜生子(文4)」「おいでませ異空江ノ島」

2団体が受賞

学生部長賞

顕著な活動を行ったサークル・団体を表彰する2014年度の学生部長賞に吹奏楽研究会(部員64人)とスカッシュクラブ(部員62人)の2団体が選ばれた。

▽吹奏楽研究会(部員62人) 2014年度の学生部長賞に吹奏楽研究会(部員64人)とスカッシュクラブ(部員62人)の2団体が選ばれた。

▽吹奏楽研究会(部員62人) 2014年度の学生部長賞に吹奏楽研究会(部員64人)とスカッシュクラブ(部員62人)の2団体が選ばれた。

奨励生に5人

14年度後期海外研修・国際交流

学生部の2014年度「後期」海外研修・国際交流奨励生に5人が決まった。これは調査・研究での生活調査」

▽藤本華奈さん(経営2) 11月12日「ボランティア活動を通して子どもたちの生き抜く力を考える」
▽小澤彩佳さん(商2) 11月14日「開発途上国での生活調査」

専らフィル昼休みミニコンサート 昼休みのひとときを音楽で彩るミニコンサート

専修大学フィルハーモニー管楽楽団(学生代表) 渡辺真実子さん・経営2)のメンバー11人が、弦楽器と木管楽器を中心に「バイレーツ・オペ・カリビアン」・スタジオリフレンドリーのとモーツァルト弦楽四重奏曲(第15番より第3楽章)を披露。昼食を取る学生たちは心地よい音色に聴き入った。

